

# 4月から 後期高齢者医療制度が 始まります

保険課 内線 485



近年の急速な高齢化の進行に伴い、増加の一途をたどる医療費の伸びを抑制し、現役世代と高齢者世代の負担の不公平を解消するため、安定的で持続可能な医療制度をつくることが必要になつてきました。

このため、現在の「老人保健医療制度」に代わり4月から「後期高齢者医療制度」が始まります。

これまで「老人保健医療制度」はそれぞれの市町村で運営してきましたが、「後期高齢者医療制度」は、昨年県内すべての市町村が参加して設立された「岐阜県後期高齢者医療広域連合（広域連合）」が運営していきます。

**○後期高齢者医療制度のしくみ**

75歳以上の人および65歳以上75歳未満の人で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人は、それまで加入していた国民健康保険や社会保険から脱退し、後期高齢者医療制度に加入します。

医療給付や保険料の賦課は、広域連合が行い、届け出や申請などの窓口業務は、市で行います。

## ○資格を取得するとき

75歳の誕生日から資格を取得します。

また、65歳以上75歳未満の人で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人は、認定日から資格を取得します。

現在、老人保健医療制度で障害



## ○被保険者証

被保険者的人には、1人に1枚、後期高齢者医療被保険者証が交付されます。被保険者証は水色で、カードサイズとなります。

4月1日の制度開始から被保険

者となる人には、被保険者証が3月中に郵送されます。この被保険者証を提示して診察・治療を受けることになります。

## ○医療機関で支払う自己負担割合

医療機関の窓口で支払う自己負担額は、掛かった医療費の1割（現役並み所得者は3割）です。

認定を受けている65歳以上の人には、広域連合の認定を受けたものは、みなされます。しかし、届け出をすることで後期高齢者医療制度から脱退し、他の医療保険に加入することができます。

## ■用語解説

### 現役並み所得者

同一世帯に住民税課税所得が145万円以上の後期高齢者医療制度の被保険者がいる人。ただし、被保険者の収入によっては申請することで1割負担となる場合があります。